

7月24日

今日は氷河特急ベルニナ線でベルニナ・ディアボレッツアに行き、もう恒例になった展望台めぐりをして、サンモリッツに戻り、ムスタス・ムラージュ展望台でディナーを楽しむというコースです

サンモリッツは高級なリゾート地として人気があり、冬季オリンピックが2回開催されているという



サンモリッツ駅前に広がるサンモリッツ湖



サンモリッツ湖の朝日



駅には日本語が違和感なく掲げられています



この氷河特急に乗ります
氷河特急という旅心をくすぐりますが、1時間程度乗れば十分です



車窓風景



ベルニナ・ディアボレッツァ展望台に向かいます



またまた4000m級の山々の眺め



左側 ピズベルミナ山(4049m) 右手ピズモーテラッシュ (3751m) 氷河が氷の流れということが一目瞭然でし
かってカナデアンロッキーで見た氷河は下から見上げ 裾
の方を歩いただけだったのでこの氷河の流れを感じ
ることができませんでした



スイスで購入のスイス国旗の入った帽子 どうしても救急隊員のように見えてしょうがありません



2度と来ない最後のアルプスの山々をバックに 記念に



展望台のレストラン 何故か窓が鏡 中央やや右手ドラムカンの温泉に入っているビキニの美女が写っています



ついでに自分を写す。カメラを構える自分



衆人の中で温泉に浸かるカップル





泡が不揃いなので、これはスイスビールでした



毎昼、夕とビールを食前に飲むのが習慣になりそうです
かと言っても水とビールで値段があまり差がなければ
それはビールの方を頼みますよね



ケーブルから



ケーブルから降り立って

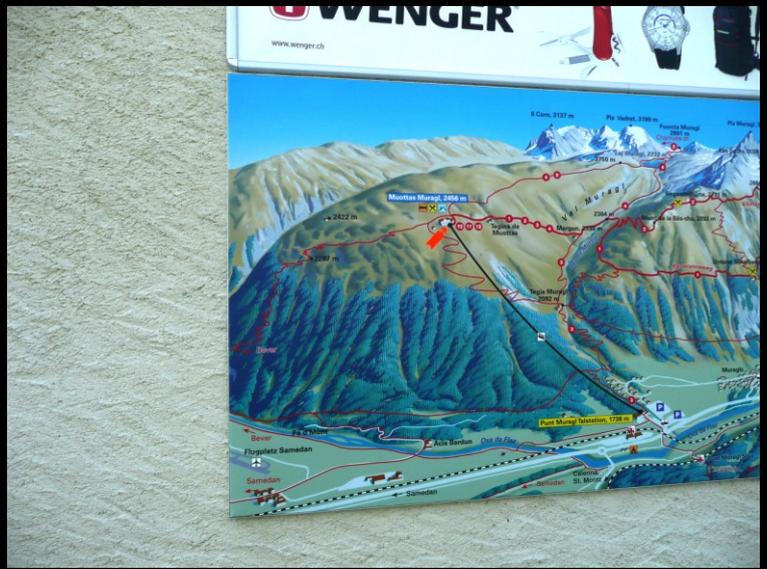


今朝乗った氷河特急でサンモッツに戻ります





ミキトラベルという張り紙が我々の指定車両です



ムスタス・ムラーユ展望台にて



うしろのボックスは日差しをさけ、のんびりと読書やうたた寝できる椅子です



展望台の裏山に登頂しました



こんな眺めのところでのんびりしたいね



2400m の高地ですが牛の放牧されていました



展望台にてディナーです



ドイツビールのように、スイスビールの場合は瓶をテーブルにおくだけで、ドイツビールの場合は何故か必ずグラスに丁寧にそそぎ、白い泡を丁寧に作ってくれます。すぐに飲めば唇に泡がつき、ビールの醍醐味があるのに何故か日本人は全員に配膳されるまで待つ、早くもらった方のビールは乾杯時に大事な白い泡がしぼんでしまいます。日本人の慣習がおかしいのではと思うがやはり我々は日本人全員がそろそろまで待ちました。



食後に 夕暮れの山々をバックに



一直線のケーブル これで麓まで降りました